

「2016年版中小企業白書」概要のご紹介(1)

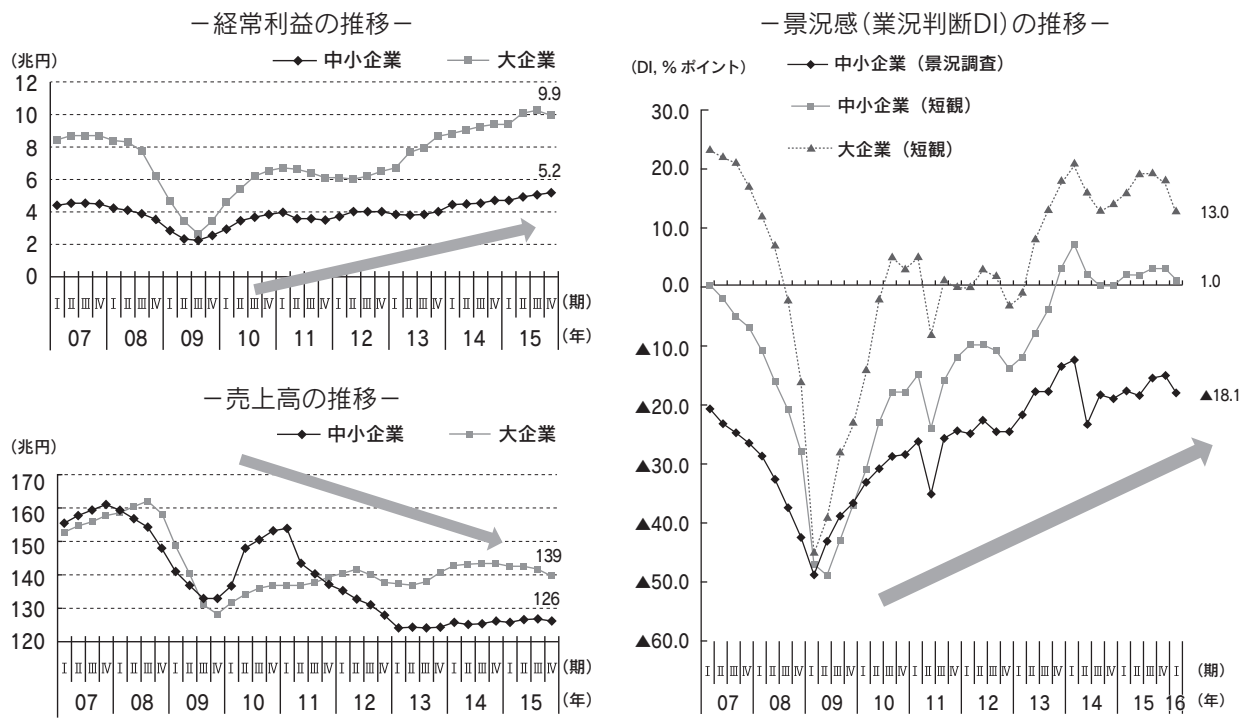
中小企業・小規模事業者の景況が緩やかな回復基調にある中で、国内市場の縮小や人材不足、設備の老朽化など、様々な環境変化や課題も顕在化しています。

「2016年版中小企業白書」では、こうした状況の中、稼ぐ力を強化し、「多様で活力ある成長発展」を目指す中小企業の取組について分析しています。

本号では、「2016年版中小企業白書概要」における現状分析の概要についてご紹介します。

◆ 現状分析 - 企業収益・景況感 -

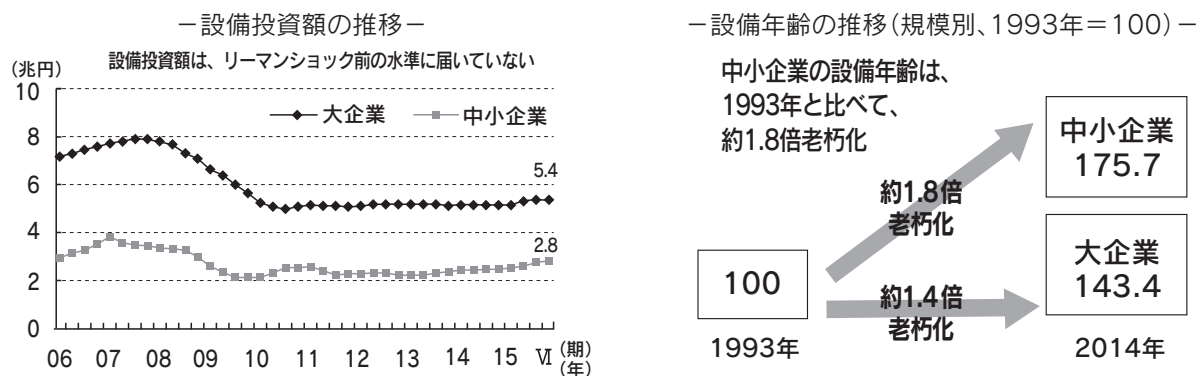
中小企業の経常利益は過去最高水準となり、景況感も改善傾向にあるが、売上高は伸び悩んでいる。



[出所：2016年版中小企業白書概要(中小企業庁)]

◆ 現状分析 - 人手不足と設備老朽化 -

中小企業でも賃上げは行われているが、人手不足感が強まっている。また、設備投資も伸び悩み、中小企業の設備の老朽化が進む。こうした状況を踏まえれば、経常利益が過去最高水準にある今こそ、省力化・合理化や売上拡大等を通じて稼ぐ力を高める必要がある。



[出所：2016年版中小企業白書概要(中小企業庁)]

なお、10月号では、2016年版中小企業白書概要における「稼げる中小企業の取組」、「中小企業の成長を支える金融」、「中小企業の経営力」の概要についてご紹介します。